

吉友嘉久子女史、赤木賞受賞



2月20日(木)、第54回砂防および地すべり防止講習会(主催:(一社)全国治水砂防協会)が開催され、赤木賞授与式において吉友嘉久子女史が赤木賞を受賞されました。

これまでの『立山砂防の伝道師』としての活動が、国内にとどまらず、世界にも広がり、砂防行政に対し大きな貢献をするとともに、砂防事業の発展に寄与してきたことが評価されたものです。



歴代事務所長と

よしも かくこ
吉友 嘉久子 女史



〈略歴〉

- 昭和46年4月 北日本放送ラジオパーソナリティ 就任
- 昭和60年4月 話力総合研究所北陸支所 設立
- 平成9年4月～ OFFICE・よしも (改称)
- 平成10年3月～ (株)よしもコミュニケーションズ 代表
- 平成11年8月 立山カルデラ砂防博物館 理事
- ～平成21年8月 財団法人砂防・地すべり技術センター 理事
- 平成13年11月～ 立山砂防女性サロンの会 アドバイザー
- 平成15年4月 富山国際大学 特別客員教授

〈受賞歴〉

- 平成8年 建設大臣表彰
- 平成15年 富山県部門功労(文化分野)表彰



特別講演
「崩れと生きる人々ー立山カルデラの砂防工事が語りかけてくるもの」



赤木賞受賞おめでとうございます。